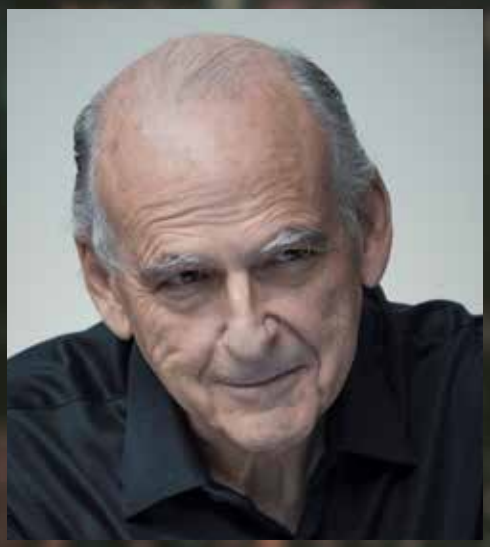
村上春樹と夏目漱石

同志社女子大学
表象文化学部英語英文学科
公開講演会

翻訳家の告白

翻訳家の仕事はテキストに向き合うこと。
ただし現役作家の場合は、作家その人にも向き合うことができます。
言葉の選択について相談し、ある時は小説場面の空気を英語表現する場合の微妙な違いを作家に納得してもらうこともあります。
では夏目漱石のような現存していない作家の場合はどうでしょうか。
テキストを前にして漱石の亡霊と会話する?
翻訳家の「本音」をお話ししてみたいと思います。
講演は主に日本語で行う予定です。



講師 **ジェイ・ルービン** Jay Rubin
日本文学翻訳家・研究者、ハーバード大学名誉教授

1941年アメリカ・ワシントンDC生まれ。芥川龍之介や夏目漱石等、日本を代表する作品の翻訳多数。特に村上春樹の翻訳家として世界的に知られている。夏目漱石著『三四郎』、村上春樹著『ノルウェイの森』、『1Q84』等の英訳書のほか、*Haruki Murakami and the Music of Words*（邦訳『ハルキ・ムラカミと言葉の音楽』）、小説 *The Sun Gods*（邦訳『日々の光』）等の氏の英語著書がある。2003 年、村上春樹著『ねじまき鳥クロニクル』の翻訳により、第 14 回野間文芸翻訳賞を受賞。2018 年 6 月刊行の *The Penguin Book of Japanese Short Stories* には国木田独歩から星野智幸、佐伯一麦等、1898 年から 2014 年までの作品 35 編の英訳が納められている。また、日本語著書には『村上春樹と私—日本の文学と文化に心を奪われた理由』(2016)がある。他に、能楽の研究も長年続けている。

入場無料
申込不要
来聴歓迎

2018.10.23(火)

開場／16:30
開演／16:45～

対象／一般・在学生・卒業生
会場／同志社女子大学 今出川キャンパス 純正館S013

〒602-0893
京都市上京区今出川通寺町西入
京阪本線 出町柳駅 3番出口より西へ徒歩約10分
地下鉄 烏丸線 今出川駅3番出口より東へ徒歩約5分

お問い合せ
同志社女子大学表象文化学部
（英語英文学科事務室）
TEL.075-251-4103
e-mail eibun-i@dwc.doshisha.ac.jp

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。